

新型インフルエンザ感染予防について No. 3

ニュースなどでも報道されているように、新型インフルエンザの流行は、とどまるところなく蔓延しています。

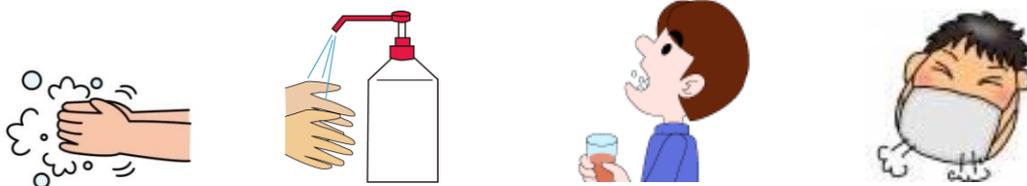
小中高校の夏休み明けの集団発生も増え続け、すでに本学でも、クラブ学生を中心に報告を受けているだけで、20名以上の発症者が出ています。

10代～20代前半にかけての年齢間での発生が中心となり、クラス単位やクラブ活動などでの集団感染が多く、そこから家族などの身近な関係での感染が広がっています。また慢性の病気を持っている人や老人、妊婦、乳幼児など免疫力の低下している人がかかった場合に重篤な症状になる場合が多く、最悪は死にいたることが報告されています。

大学では後期が始まる今後、引き続き十分な注意が必要です。



学生・教職員のみなさんは「手洗い」や「うがい」はもちろんのこと、学内各所のアルコールによる消毒を行い、咳の出るときは必ずマスクをして感染予防に努めてください。



もし、発熱や咳などインフルエンザの感染を疑わせる症状がある方は、**最寄りの医療機関で受診するか、保健所の相談窓口（月～金）に電話で相談してください。**身近な人に感染者が出た場合は、症状がなくても感染している場合がありますので、病院での検査をお勧めします。厚生労働省より、学校で新型インフルエンザ感染者が出た場合などに報告するように通達が出ていますので、大学にも連絡をお願いします。

以上

2009年9月20日 保健室